当御代官所和州吉野郡十津川郷惣代共奉申上候、近年異国船度々渡来海辺往復年をいい書附御伺奉申上候
御年貢山川諸運上共御免許地、別而趣奉承知候、依而者当郷之儀者、従古来御由緒之苗字帯刀仕来、
東照神君様大坂御陣之節八、乍恐一統軍役相勤候二付、為御褒美鎗役四拾五人
分御扶持方被 下置、古来之通御赦免地、猶
御大礼之御時々者、乍恐連綿献上物奉差上難有場所柄「御座候間何時」「而も御
用御差図次第可相勤覚悟!而罷在候、依之此上異国船渡来不穏候節者、郷中一
統如古来罷出候間、此段惣代を以御伺奉申上候、何卒被為(聞召置御用御座候
節者、古来之通被仰付候八丶、一統難有仕合奉存候、以上
十津川郷惣代
嘉永六年 谷瀬村庄屋
五九月十日
野尻村庄屋
上平主税
内藤杢左衛門様
御役所
乍恐以書附御届奉申上候
一十津川郷惣代共奉申上候、近年八異国船度々渡来いたし、猶又当年八相州浦
賀湊江渡来仕候二付、海岸防禦御備向御厳重之趣奉承知、依之而当郷之儀者、
從古来御由緒有之而、別段之場所柄之儀 "付、御国役等被 仰付候節八先規

武器取調帳

以 上	右者十津	同 裏		羽織表	(図略)			(図略)	右具足用音		(図略)	組共籏之中	籏合印丸	(図略)	右ノ組共高発						
	浑川鄉御用被仰付候節八、 合印并着	褁(図略)	但合印白丸之内十之字也也者紺又八勝色木綿	衣(図略)	略)	合印朱丸并黄	陳笠黒塗	略)	右具足用意之分さしもの也、	紋所姓名黒染付	略) 但、絹白地	組共籏之内江組名書込都合八本也、	籏合印丸之内十之字、色八黒染也、右八	略)	大高强 一烃之内称名書论者名人界 "谁应何	西川組	四村組	東村組	三村組	下二村組	上二村組
	右者十津川郷御用被仰付候節八、合印并着具等雛形奉差上候通相違無御座候、		之不綿										右八組 "八本、但し壱組壱本宛也、右八		~ 逛 应 修						

吉野郡十津川郷 惣代

三浦村庄屋

内藤

杢左衛門

様

嘉永六年丑十二月

日

風屋

村庄屋

玉堀為之進

乾

丘衛門

林

村年寄

植田

利祐

御役所

乍恐以書附御願奉申上候

右之趣 ¥ 御座候間、 和州吉野郡十津川郷惣代共奉申上候、 御恩沢相弁之上八此上万一軍役之節八十津川相応之御用被 申二而者無御座候、 御用被 -- 付而者、 十津川郷之儀者、 御 聞済被成下候 仰付次第可相勤覚悟 "御座候、 弐百年来昇平之御恩沢相弁、 上納金之儀者何卒御赦免被 就中近年凶作打続折柄武器用意之儀 "付而者、 Л 1 去丑年中奉差上候書面雛形之通用意罷有、 往古より之御由緒相立郷中 近年異国舟渡来海辺御備向御入用莫太 然上八弐百年来昇平之御恩沢相弁不 上納金可奉願旨被 成下度幾重 "も奉願上候、 仰 付 仰渡奉恐入候得 奉願上候、 実以難渋 何時三而も 猶昇平之

統難有奉存候、 以 上

長殿村庄屋

宇

宮原村年寄

大方源左衛門

平

畄

源蔵

上組中之村組

和 州 郷

吉野郡十津川

柳瀬定之丈

山手谷村庄屋

東村組

吉田 藤吉 小原村庄屋

玉井浅之助

湯之原村庄屋

中西 武平

池穴村庄屋

持井武兵衛

山崎村庄屋

下二村組

小倉数之助

瀧川村庄屋

前田清左衛門

風屋村庄屋

下組上二村組

佐古右兵衛

迫之原村庄屋

植田 利祐

三浦村庄屋

新 平

林

上之地村庄屋

畠山利右衛門

寒川組

村庄屋

滝 井

巳閏五月 日

安政四年

+
津
Ш
郷
惣
代

安政四巳六月 日

取 候 候、 往 古 弁、 日 下 奉畏候、 之武器修覆用意仕候 "付入用も多分相掛、 近年異国舟渡来海辺往復致し、 何時 || 而も罷出候覚悟 || 罷在候 || 付、 延 候 右御 被 Л 依之而武器修覆 而御用相勤メ来候儀 "付、 御由緒有之候而苗字帯刀仕来候 "付、 成下 1 元来当郷之義者一郷一 入用之内江上納金可相願旨被 度奉 右両様御沙汰之趣 願 上候、 入用有増猶又御用之節者頭取候者取調申上候樣被 以 上 ____ 即答:申上兼候間、 体之場所柄 "而都而御用之節 同申聞之上否奉申上候間、 防禦御備向御入用莫太 "付、 上金之儀者御赦免被成下難有仕合!! 仰渡承知奉畏候、 猶追々手当仕方一御用御座候節八 去丑年中奉差上候雛形之通、 来八月二日迄 然処十津 何卒御日限まて 昇平之 八村々役人共頭 御猶予 川郷者従 御恩沢 伝 来 被成 奉 存 仰 御 聞 相

御役所

内藤杢左衛門様

山本喜兵衛

小 坪瀬村庄屋

植 松 源左衛門 今西村庄屋

泉 元 藤蔵

込之上村庄屋

佐古源左衛門

Щ 手村庄屋

四村 組

> 寺尾 兵助

折立村庄屋

近年異国船渡度々渡来、海岸御備向御入用莫太 付、御備筋御入用之内エエ上
規定書
御役人
内藤杢左衛門様
中久兵衛
垣内村庄屋
久保常之進
高津村庄屋
十津川郷惣代
安政四年已八月日
相勤候儀 " 付、此段奉申上候、以上
且又御用之節者臨時御差図次第年齢人柄を撰人夫相催村々役人頭取 "而御用
・薙刀等錆落修覆入用有増し取調候処、郷中 "而凡金六千五百両余 "御座候、
候 付、則取調始末奉申上候趣八伝来之具足修覆 #刀・脇差・弓・鎗・鉄炮
成下一同難有仕合奉存候、然上八武器修覆入用荒増取調可申立様被(仰付
多分相懸り候!付、上納金之儀者御赦免(被成下候様奉願上候処、御聞済被
右丑年中奉差上候雛形之通武器用意仕、猶追々手当罷有候 付而、入用等も
御赦免奉願上候通当郷之義者、従往古御由緒有之候而苗字帯刀仕来候 "付、
莫太 " 付、右御入用之内፲上納金相願可申旨被仰付奉恐入候、右者去丑年中
和州吉野郡十津川郷役人共奉申上候、近来異国船度々渡来海辺御備向御入用
御役所
内藤杢左衛門様
泉元 藤蔵
込之上村庄屋
滝井 新平

林村庄屋

	日六月 日	其連印取締書如件、飯を以相賄、成丈ヶ入用不相掛様心懸可申筈、然」が取調方之儀者来八月三日上二村始順次 "取調"付、来大切"致し、此上者何時"而も御用御座候共、差支	して弐人、下組より上組江弐人相互二立越候節、隣江持参三而村々庄屋・年寄外壱人都合三人宛立会、	笠 •	西東村組	四村組	下二村組	上二村組	中之村組 トロヶ村	組立会取調置可申、最寄場所左之通	奉差上候、然上者兼而村々一同用意	済之上、武器用意入用等有増取調可申立様被	懸候 " 付、上納金御赦免被(成下度段、	納金可相願旨被(仰出候処、去丑年
宇宮原村庄屋 川村庄屋 屋	長殿村庄屋	⊥ <u>č</u>	ユニ立越候節、隣組より)合三人宛立会、則上組	火事具其外組々村々籏井高張幕等取揃壱組限ライア	天 玉置山	垣 東泉村 寺	山原村村	虱 大 室 村 宮	村神宮寺		忘いたし置有之武器紛失等不致様、	可申立様被 仰渡候 "付、	段、今般惣代を以願上候処、	去丑年中奉差上候雛形之通武器修覆入用多分相
大 鈴 辻 方源左 都 で 蔵 門	平 岡 源 蔵	付、雑用之義者其組 有合廉	隣組より壱人立会取調置以、則上組より下組江惣代と	で組限り右最寄場所							大等不致様、上組下	1、則別紙取調連書	候処、願之通御聞	山器修覆入用多分相

一当郷	
当郷之儀者従古御由緒有之候而、	
非常御用之節八御差図次第可罷出覚悟三	名所同所名 著
次第可罷出覚悟!罷	原日日12〕

会所同所年寄	野尻村庄屋	今西村庄屋	玉垣内村年寄	樫尾崎村庄屋	込之上村庄屋	垣内村庄屋	竹筒村年寄	玉井川村庄屋	神山村庄屋	小森村庄屋	武蔵村庄屋	湯之原村庄屋	池穴村年寄	山崎村庄屋	内原村庄屋	風屋村庄屋	川津村庄屋	三浦村庄屋	五百瀬村庄屋	山手村庄屋	高津村庄屋	林村庄屋	上之地村庄屋	谷瀬村年寄
原田助之進	上平 主税	植杉源左衛門	松村良左衛門	榊本惣兵衛	泉元藤蔵	中 久兵衛	東 伝右衛門	玉置 覚治	西嶋吉右衛門	丸谷民左衛門	中谷源衛門	玉井浅之助	松尾七太夫	楠井 武平	中上久左衛門	中谷忠兵衛	野崎長治平	植田 利祐	杉本喜代蔵	中南忠左衛門	久保常之助	滝井 新平	畠山利右衛門	泉谷 主斗

但、幕之儀有之候 仕可申筶相極申候」 村方八追々用意 村方八相用可申、無之

٦

	午六月	安政五年	々出情御奉公等一同、 ^(精)	席江断を立進退其訳	帳面 !!書載可申候、た	面:も留メ置候条、当	々所持之分も一躰之	候分永々所持致、何	右之通村々武器品々	(中略)	右者村方所持之分	一陣笠・火事具拾五人前	一高張 壱張	一幕 壱流	一籏 壱本	一鉄炮 壱挺	一弓 壱張	一鑓 壱筋	一鎧 壱領	長殿村	又此度一組限篤と相調、	前田清左衛門・小	玉堀為之助・三浦	修覆仕村々用意之:	有候処、近来異国
		和州吉野	同心掛候様可仕筈、為其一	を立進退其訳帳面゠も相記可申候、右・	尤銘々所持之分八往々其当人自然無拠義出来候節	尚も此上調度出来之分八村役人より届出、	一躰之場所柄御由緒を相弁御奉公等心掛候儀 "付、	何時 " 而も御用立候様、常	取調候処相違無御座候、			人前									相調、帳面書記申処左之通、	小原村庄屋吉田藤吉、右両	・三浦村庄屋植田利祐右両人下組Ξ立越、	仕村々用意之分 ^并 銘々所持之分共、去	近来異国船度々渡来 付、何時之!
長殿村庄屋	立会役人	和州吉野郡十津川郷村々惣代	為其一同連印依而如件、	右之通此度立会取締候上ヱ者、	当人自然無拠義出		-公等心掛候儀 "付:	常々心掛大切"所持可仕候、	然ル上ヱ者、伝来												通、	右両人上組江立越相互:相改有之、	組江立越、下組より	去巳年中為郷代上組よ	何時之御用も難斗候故、
平岡		代	Ň	候上ヱ	来候節	明白之-		可仕候、	之武器													一相改	八 風	り 八	先祖伝
源蔵⑪				者 、 尚 追	八、郷会	明白之上ヱ者此	前書之通当帳	尚 又 銘	来之武器修覆出来													有之、猶	屋村庄屋	林村年寄	先祖伝来之武器

池穴村庄屋	川津村庄屋	内野村庄屋	三浦村庄屋	五百瀬村庄屋	杉之瀬村庄屋	清之原村庄屋	高津村庄屋	林村庄屋	上野地村庄屋	谷瀬村庄屋	達 丿
玉置弁之	野 崎	青 木	三 浦	杉本喜	玉置松	尾 上 勘	榎	上 谷 長	畠山浅	吉田	
, 之助 即	土斗印	良 平 印	源蔵	【 代蔵 印	兵衛	十良印	信亮印	兵衛	な進卵	常治	

十 津 川 戌七月

文久弐年

前書之通聊以相違無御座候、以上

会所谷瀬村庄屋	永井村庄屋	込之上村庄屋	上葛川村庄屋	湯ノ原村年寄	野尻村庄屋	風屋村庄屋	五百瀬村庄屋代	林村庄屋	上之地村庄屋	宇宮原村庄屋	
泉谷安之	松 井	泉 本	中 善	丸谷	上 平	前田	小松	滝 井	畠山	大方	
安之助 印	源蔵印	藤蔵印	藤太印	芳右衛門印	主税	清左衛門印	礒之丞即	新 平 印	浅之進印	源左衛門印	

千石会所	玉垣内村庄屋	谷垣内村庄屋	折立村庄屋	大野村年寄
	松村	栗 栖	寺 尾	下村日
	元右衛門印	金治印	兵 助 印	兵之烝印

以 上

山手村庄屋

中南忠左衛門印